

## 技術・家庭科 学習指導案

日 時 平成16年10月 6日(水) 5校時  
学 級 3年B組(男子17名 女子16名 計33名)  
指導者 教諭 羽澤 美紀

- 1 題材名 家庭生活と地域 「B家族と家庭生活(開隆堂 家庭分野)」
- 2 題材について

### (1) 題材観

この題材は、基礎的・基本的な内容の「自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり」「幼児の発達と家族」「家庭と家族関係」「家庭生活と消費」の4項目で構成されている。

ここでは「家族と家族関係」の中の「家庭生活は地域の人々に支えられていることを知ること」について学習させ、家庭生活と地域とのかかわりを考え、各自が地域の一員として生活しているという自覚をもたせるようにすることをねらいとしている。

この題材は、自分がどのように成長してきたかを知り、いかに家族やまわりの人々がかかわっているのかを知る学習であり、自分も周囲の子どもの成長を支える環境の一員であることを認識する学習でもある。また、地域の環境や資源に配慮した生活について課題をもち、自分なりの工夫を考える機会にもなる。自分自身と身近な人々をより深く理解できる豊かな心をはぐくむことが期待できる。本単元のねらいである、家族や周囲の人々との人間関係の大切さや家庭生活を営む意義を見出すことに適していると考えこの題材を設定した。

### (2) 生徒観

自然豊かな地域に生まれ育ち、多くの方々に支えられ育ったと感じている生徒もいるが、多くの子どもは地域の魅力に気づかずにいる。地域行事への中学生の参加が年々減少してきていることから見ても、意識の希薄さが伺える。

ただし、地域の人々との交流にかかわることが少なかったことも一つの要因と考えられる。どのような方法でかかわっていけばよいか考える機会が必要と思う。

また、地域の環境を守るために八幡平の外来種除去作業や地区毎の資源回収などを行っているが、行事化しており、生徒の意欲にも差が見られる。地域の環境や資源に配慮した家庭生活の工夫について学習することで、意識づけになるのではないかと考える。

### (3) 指導観

子どもは地域の様々な人々とのかかわりの中で育つなど、日常生活のいろいろな場面を取り上げて、家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解できるようにする。また、地域の環境や資源に配慮した生活について課題をもち、その解決を目指した工夫について考えさせる。

この学習では、地域の活動や行事など、日常生活の中から具体的な事例を用いて、地域の人々とのかかわりについて考えたり、自分達にできることなどを話し合ったりなどの学習活動を通して、各自が地域の一員であるという自覚を持つことができるようにする。

#### (4) 教科における最終的な願い

生徒が自分の生活をみつめ、生活の中から課題を見つけ、調査したり、実践してみたりして、今の生活を工夫し創造することを通して身につけていく、これからの生活や将来の生き方を選択する能力や生活を創造していく力を育むことを家庭科ではねらいとしている。

家族と家庭生活の学習を通して、自分自身のこれまでの生活を見つめるとともに、成長に関わってくれた身近な人々との交流を子ども達は考えていくことになる。それによって、人間関係づくりの基盤を確かなものとし、今後の豊かな生活づくりの選択に大きな視点を与えていくことになると思われる。

### 3 単元の目標

#### 【生活や技術への関心・意欲・態度】

清掃活動や地域の行事など、地域の生活に関心を持ち、地域の人々とかかわろうとする。

環境や資源に配慮した生活の工夫について関心を持ち、課題を見つけようとする。

#### 【生活を工夫し創造する能力】

環境や資源に配慮した生活について課題を持ち、その解決をめざして自分なりの工夫をしたり、新たな方法を考えたりする。

#### 【生活の技能】

自分の生活を点検し、環境や資源に配慮した生活の工夫について、計画を立てることができる。

#### 【生活や技術についての知識・理解】

家庭生活と地域社会のかかわりについて知り、地域社会の一員であることを理解できる。

### 4 単元の指導計画と評価規準

時	指導目標	関心 意欲 態度	工夫・創造	技能	知識・理解
1	地域の環境や資源に配慮した生活について考えよう	身近な環境や資源に関心を持ち、よりよい環境にするために自分たちにできることを見つけようとする。			
2	地域の人々が暮らしやすい環境について考えよう		地域の環境をよりよくするための課題について、その解決方法を工夫することができる。	自分の生活を点検し、環境や資源に配慮した生活の工夫について、計画を立てることができる	
3 本 時	地域の行事や地域の人々の活動を知ろう	地域の生活に目を向け、地区の行事や地域の人々の活動について関心をもつ。			地域社会とのかかわりについて知り、地域社会の一員であることを理解できる。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

地域の行事や地域の人々の活動について考えることができる。

### (2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

観 点	評価規準	具体的評価規準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C と判断される生徒への支援
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	地域の生活に目を向け、地区の行事や地域の人々の活動について関心をもつ。	自分の住んでいる地区の行事や活動ばかりでなく、松尾村独自の活動についても情報を集めている。	自分の住んでいる地区の行事や活動について思い出しながら、2～3の例をあげることができる。	ほかの生徒の発表や写真などをヒントに、地域の活動について思い出させる。
知 識 ・ 理 解	地域社会とのかかわりについて知り、地域社会の一員であることを理解する。	地域活動を支えていくために自分達ができる実践的な活動を考えている。	地域活動を支えていくために、自分ができるように関わればよいかまとめることができる。	板書やほかの生徒の考えから、いくつか自分ができるようなことを選ばせ、まとめさせる。

### (3) 指導の構想

- ・ 課題把握の場面では、地域の行事や活動についてグループを活用しながら知っていることを数多く発言させたい。また、グループの練りあいの部分ではじっくり考え、お互いの価値をとらえさせたい。
- ・ ふりかえりの場面では、地域社会の一員として地域の行事や活動を守りつづけるために、自分がどのように関わればよいかまとめさせ、確実に記入させたい。

(4) 展開

過程	学習の流れと主要発問	生徒の学習活動	教師の支援 ( ) 評価 ( ) 留意点 (・)
想起 課題把握	1 写真資料提示 「この写真は何の写真でしょうか？」 2 グループの思考	1・気づいた生徒に発言させる。 2・写真以外の地域の活動や行事について出し合い、ミニカードに記入し黒板に貼っていく。	地域の活動や行事の写真  新しい気づき (関) 自分の知っていることを発表しているか
12分	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>【A】</b> 自分の住んでいる地区の行事や活動ばかりでなく、松尾村独自の活動についても情報を集めている。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>【B】</b> 自分の住んでいる地区の行事や活動について思い出しながら、2～3の例をあげることができる。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>【C】</b> ほかの生徒の発表や写真などをヒントに、自分の地域の活動を思い出させる。</p> </div> </div>		
	3 学習課題	3・学習課題をつかむ	
	地域の行事や活動を守り続けるために必要なことは何だろう		
課題 追求	4 インタビューVTR 5 個人の思考 6 グループでの練りあい	4・VTRを見て、活動を続けていくために必要なことに気づく。 5・松尾村の地域の活動に必要なことなどに気づき、書き出す。 6・グループごとにまとめる。	VTRの内容にも触れ、全員が気づけるように配慮する。  (知) 自分と地域活動のかかりについて知る
30分	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>【A】</b> 地域活動を支えていくために自分達ができる実践的な活動を考えている。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>【B】</b> 地域活動を支えていくために、自分がどのように関わればよいかまとめることができる。</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>【C】</b> 板書やほかの生徒の考えから、いくつか自分のできそうなことについて選ばせ、まとめさせる。</p> </div> </div>		
	7 発表	7・グループ毎にまとめたことを発表する。	・話の聞き方、発表の仕方にも気をつけさせる。
まとめ 8分	8 評価 9 ふりかえり記入	8・相互評価をする。 9・本時の授業についてまとめる。	